

様式第5号（第3条関係）

各種防火対策概要表

防火対象物名称	① ○○ビル
	② 対策実施者番号：(全員)
対策項目 ③	火災の早期発見対策、消防活動対策、その他
対策概要 ④	1 監視カメラの設置 2 消防水利の設置 3 AEDの設置
対策効果 ⑤	1 監視カメラ設置により、火災の早期発見に繋がる。 2 消防水利を使用して、消防活動を支援することができる。 3 応急手当の際、AEDを使用することができる。
対策実施部分 ⑥	防災製品の使用：5階～9階 ホテル客室寝具（布団、枕、マットレス）
その他必要事項 ⑦	

- 備考 1 対策概要について記載した図書を添付すること。
2 対策実施者番号の欄には、防火対策を実施した者の番号（別記様式第6号参照）を記入すること。

（日本産業規格A列4番）

〔各種防火対策概要表記載要領〕

項 目	記 入 要 領
①防火対象物名称	防火対象物名称欄は、申請する防火対象物の名称（防火対象物全体の統一された名称）を記入します（優マーク告示第1条の2第1号～第3号に基づき、防火対象物の一部のみ申請する場合には、当該認定を受けた部分が明確になるよう記入します。）。
②対策実施者番号	対策実施者番号欄は、当該防火対策を実施している申請者の番号（申請者一覧表（優マーク告示別記様式第6号）の番号欄）を記入します（防火対象物全体に及ぶ対策にあつては、「全員」と記入します。）。
③対策項目	対策項目欄は、次の例により火災予防条例施行規則第11条の18第6号の対策項目を記入します。 〔例〕 「出火防止対策」 「火災の早期発見対策」
④対策概要	対策概要欄は、優マーク告示別表、第6に基づく各種防火対策の概要を簡潔に、かつ、分かり易く記入します。
⑤対策効果	対策効果欄は、各種防火対策をとることにより、どのような効果があるのか、簡潔に、かつ、分かり易く記入します。
⑥対策実施部分	対策実施部分欄は、次の例により各種防火対策がとられている部分を記入します。 〔例〕 「AEDの配置」の場合：「1階 ロビー（受付横）1台」
⑦その他必要事項	その他必要事項欄は、認定に際し、必要と思われる事項を記入します。